

## 令和8年度 入学式 式辞

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。皆さんを心から歓迎いたします。

そして本日の慶びにいたる道のりを支え、励まし、導いてこられた御家族の皆様にも、本学の教職員を代表して心からお祝いを申し上げます。また、平素より本学にお力添えを賜っております御来賓の皆様の御臨席を賜り、誠にありがとうございます。桜の咲き満ちた、今日のおよき日に、入学式を挙げていただけますことは、本学にとってこの上ない喜びであります。

看護師を目指す看護学部の皆さん、理学療法士・作業療法士を目指すリハビリテーション学部の皆さん、より高度な看護実践者や管理職、教育研究者、保健師、助産師を目指す志をお持ちの大学院の皆さん、そして、はりきゅう師・柔道整復師を目指す専門学校の新入生の皆さんの、今日の、真摯な姿勢と決意に心から敬意を表します。

本学は、約40年間にわたり地域の保健医療福祉を担う医療専門職の養成を時代の流れとともに、医療専門学校から短期大学を経て4年制大学、大学院開設へと発展してまいりました。このキャンパスで、7職種の医療専門職を養成する医療系総合大学へと発展し、これまで多くの卒業生を輩出し、地域医療を支える医療職の養成に努めています。

令和9年4月には名古屋市医師会の要請を受け、閉校した名古屋市医師会看護専門学校の跡地校舎を継承し、この岐阜キャンパスに加え、新たに名古屋キャンパスを設け、名古屋看護学部の開設を計画しております。

本学の建学の精神は、「命と向き合う心、知識、技をもった地域医療に貢献する医療人の養成」です。

これからの学びで、看護学部、リハビリテーション学部、専門学校に入学の皆さんには、医療に関するそれぞれの専門知識や技術を学び、医療人としての高い倫理観を培って、将来の医療専門職として、患者さん及びご家族に寄り添う心を持つ医療人となり、地域医療を支える人材となっていきたいと思います。

大学院の入学の皆さんには、本学での研究を深め、さらに発展させ、看護実践力を高めていくことを期待しています。さらに、助産師コース・保健師コースの皆さんは、それぞれの専門性を極めることを目指し、公衆衛生看護専門職としての保健師、母子保健活動に貢献できる助産師となっていきたいと思います。教育、研究、情報を本学から発信し、皆

さんと共に大いなる発展を遂げたいと思います。

皆さんは、今、期待で満ちあふれていることと思います。本学に入学された皆さんに、二つの言葉をお話しておきたいと思います。一つ目は、建学の精神の中にもある『命と向き合う心』を育てていただきたいです。医療人としての人間力を高めることが重要となります。自ら学ぶ姿勢を育み、医療に関する学問を究め、『命と向き合う心』を鍛えていただきたいです。この『命と向き合う心』とともに、二つ目は、皆さん自身が『医療の未来の担い手』であるという自覚を持っていただきたいです。皆さんは、社会からの大きな期待を背負った存在となったということを受け止めていただきたいです。

地域医療の未来を切り開いていくための、さらに、この令和時代を担う医療人の育成、教育・研究に邁進していくことが本学の使命であります。実践的な学びを通じ、次世代の担い手となる皆さんへ、命に携わる保健医療のやりがいと尊さを教職員が一丸となり伝えていきます。皆さんには、未来の自分の社会的な役割を自覚していただき、優れた医療人を目指して、医療を学ぶ学生として責任ある行動を確立していただきたいと思います。

先日、とても感動した出来事がありました。2週間ほど前、新幹線に乗車していた時、車内アナウンスで、『体調不良の方がいます、医療従事者の方がいらっしゃいましたら、6号車までお越しください』と。そのアナウンスを聞いて、私は、向かいました。すでに2人の女性が体調不良の方に声掛けをしていましたが、そのうちの1人が、この春本学の看護学部を卒業した学生でした。彼女は、車内アナウンスを聞いて、卒業したばかりの学生だが、そんな自分でも何か手助けができるのではないかと、迷ったけど、この車内アナウンスを聞いて行かなかったことを後悔しなくなかったから来ましたと言いました。私は、とても彼女の行動力と人間力に誇りを感じましたし、感動しました。幸いにも、体調不良の方は、大事には至りませんでした。6号車から11号車にある多目的室まで、車椅子で移動し体調が落ち着くまでサポートしてくれました。その後、JR 東海よりお礼の手紙が、大学に届きました。彼女が本学で学んだことを糧に、今日からスタートする看護師としての活躍にとっても期待するとともに、偶然ですが、新幹線の中で、共に救護活動し社会貢献できたこと、教員としての偶然の再会にとっても感動しました。

また、本学は献血啓発活動の学生ボランティアも積極的に行っております。献血の重要性や必要性を知り、献血の必要性を周知させる活動です。皆さんも、『命と向き心』と『医療の未来の担い手』を常に意識し、医療専門職を目指す学生として、さまざまな場面において、社会に貢献できる学生生活を送っていただきたいです。

まずは、夢を叶える第一歩を踏み出そうとしている自分に自信を持ってください。そして未来への覚悟を新たにし、夢を実現させてください。しかし、時には壁にぶつかり、或いは挫折そうになることもあろうかと思えます。大学院研究コースの学生以外の皆さんは、卒業とともに国家試験合格も必要です。最終学年に向け、進級とともに国家試験対策が本格的に取り組んでいきます。

先日、この春の卒業生の国家試験合格の発表がありました。看護師、理学療法士、作業療法士、保健師、助産師は全員合格し、合格率100%の快挙を達成しました。国家試験は全員が合格し、晴れて、今日から新たな道へと進んでおります。学生の努力はもちろんのこと、我々教職員も一丸となり指導し、達成できました。必ず、新入生の皆さんも国家試験合格100%を目標に、これから進んでいきましょう。これからの学びの中で、困難な状況となっても、夢をかなえるという初心に立ち還ることで、必ず乗り越えられるものと信じております。

このキャンパスでは、生涯を通じる仲間たちとの出会いの場でもあります。学生生活は学びだけではなく、さまざまなことに挑戦してこれからの学生生活を楽しみ、人としての幅を広げてください。多職種によるチーム医療は、現代の医療の常識であり重要なポイントです。学部学科間の学生交流もどんどん進めてください。

我々教職員一同は、皆さんが充実した有意義な学生生活を送られるよう、全力で支援してまいります。ご家族の祝福と期待を胸に刻み、感謝の念を持って、学生生活に、十分に励んでいただきたいと思えます。

本学で学んだことが生涯の宝となり、地域医療に貢献できる優れた医療人へと成長されることを心より祈念し、入学式の式辞とします。